



イマジン ロータリー

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年



Rotary District 2640 JAPAN

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 中村 俊之 幹事 千賀 知起 SAA 田中 淳

第 2121 回例会

2022 年 12 月 19 日 (月)

海南商工会議所 4F 19:00～
クリスマス例会

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. 出席報告

会員総数 45 名 出席者数 26 名
出席義務規定適用免除会員 3 名
出席率 63.41% 前回修正出席率 82.93%

4. 会長スピーチ

会長 中村 俊之 君

皆さんこんばんは、
本日は例会を夜間に変更し、恒例のクリスマス例会を開催させていただきます。

早いもので今年度も半年が過ぎ、本年度最終の例会となります。会員の皆様には公私ともに大変お世話になりました。今年一年誠にありがとうございました御座いました。皆様のご支援、ご協力のおかげで大きなトラブルもなく今年一年を締めくくることができそうです。改めて感謝申し上げます。

本日は、親睦委員会の企画でいつもとは違う席の配置で、銀鈴さんのお食事のほか、奥親睦委員長が厳選したおつまみや皆さんにお願いして持ち寄っていただいたお酒、シャンパンなどをご用意させていただきます。この半期いろいろと至らぬ点もあったかとは思われますが、反省点や改善点を振り返りつつ、一年の労をねぎらう例会としたいと考えています。

また、既にご案内させていただき本日出欠の締め切りとさせていただいていた、新年最初の例会、新春家族例会を1月7日土曜日、和歌山マリーナシティホテルにてとり行います。こちらも親睦委員会の皆様が趣向をこらした企画を用意しご家族の方々に楽しんでいただけるよう準備を進めています。よ



り多くの方に出席していただけるようお願いするとともに、年明けにはまた元気な姿で皆様とお会いできることを心より祈っております。

最後に来年も皆さんの更なるご支援、ご協力をお願いするとともに、重ね重ねではございますが今年一年、本当にお世話になりました。皆さん本年度最後の例会を楽しみましょう！

報告事項

12月17日(土)午後4時から、きうち子供食堂さんに、クリスマス用お菓子配布の支援をしてまいりました。参加していただいた、楠部さん、田岡さん、奥さん、寒くて小雨のちらつく中長時間にわたりお疲れ様でした。

5. 幹事報告

幹事 千賀 知起 君

○例会休会のお知らせ

和歌山北 RC 1月2日(月・祝) 9日(月・振替)
海南西 RC 1月5日(木)
和歌山中 RC 1月6日(金)

6. クリスマスパーティ



12 月は 疾病予防と治療月間

四つのテスト 実行はこれに尽してから

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか
② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



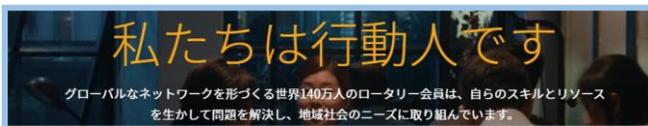
事務所 〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266



7. 閉会点鐘

次回例会

第 2122 回 2023 年 1 月 7 (土)
マリーナシティホテル 18:30~
新春夫婦例会



ニコニコ・BOX

- 寺下 卓 君 ヤギが 2 匹生まれました。先週、倉橋さんが夫婦で見に来てくれました。もらわれても決まっています。
- 前田 誠史 君 クリスマス例会、楽しいです。
- 宇恵 久視 君 寺下さん、ヤギだけでなく鶏も飼っています。
- 中西 秀文 君 昨日ゴルフ行ってきました。雪が降り寒いし、業みたいなゴルフでした。
- 魚谷 幸司 君 甥っ子が今度アメリカンフットボールのライスボールに出るようになりました。1 月 3 日に放送されます。機会があれば見てください。

- あと、この前ネットでフィッシング詐欺にあいかけて寺下さんに助けられました。
- 山畑 弥生 君 今日は奥先生ありがとうございます。久しぶりにメリークリスマスと言って乾杯しました。24 日に主人ともスパークリングワインでメリークリスマスと乾杯したいと思います。
- 大江 久夫 君 昨日、息子の家族と家内と一緒にクリスマスパーティーをしました。
- 上野山 雅也 君 昨日、嫁さんとワールドカップ決勝を一緒に見ました。いい試合だったので仲良くなりました。
- 桑添 剛 君 寺下さんのヤギ、一匹予約。来るのを楽しみにしています。
- 土井 元司 君 明日、大阪桐蔭の吹奏楽部が YouTube で流れます。うちの子も出るのを見てください。
- 箕嶋 利一 君 この前のゴルフ、海南高原でバーディー 3 ツ取りました。
- 重光 孝義 君 嫁が娘さんの東京に行っていて、自分で料理しました。結構美味しかったですあと、新春夫婦例会奥さんと、娘さんと 3 人で参加しようと思っています。
- 榊原 由希子 君 10 日間前くらいに、父と母が同時にコロナになりました。その際は奥先生お世話になりました。私もかかったのでコロナについてかなり詳しくなりました。また前回の夜間例会で、中西さん、山畑さんに運転代行というものを教えていただき、これから夜間例会ではお酒を飲めるようになりました。
- 阪口 洋一 君 新春夫婦例会、楽しみにしています。孫にサクラという女の子がいます。幼稚園の頃からロータリーの色々な活動に参加しています。高校 3 年生なのでもう来ないかなと思いましたが、手紙を書いたら OK という返事が来ました。楽しみにしています。
- 倉橋 順子 君 私も昨日ワールドカップ決勝を見て寝不足です。サッカーは熱いけどまだまだ寒い日が続きますので、体に気を付けてお過ごしください。
- 総田 さよ志 君 とれとれ市場でホキ井を売っています。ハワイの井ですが皆さんご存知ですか？おかげさんでそこそこ売れてます。ロコモコ井もやっていますこれもそこそこ売れてます。東京の店もずっと閉めていて家賃だけ払っていたのですが、借りてくれる人が出てきて良かったです。

モンゴルで人びとの命を救う 肝炎・肝がん対策支援

肝がん死亡率ワースト1の返上を可能にした 「佐賀方式」

江口有一郎（佐賀ロータリークラブ会員）
佐賀大学医学部臨床教授

肝がんは、肝臓にできるがんで、放っておくと命にかかわる病気ですが、早期発見と早期治療により予防が可能です。

私の住む佐賀県は、特に60歳以上の方で

C型・B型肝炎ウイルスの感染によるウイルス性肝炎の罹患率が全国でも非常に高く、そのため肝がんによる死亡率で全国ワースト1位が長年続いていました。これを解決するため、2012年1月から県と佐賀大学が中心となってさまざまな手法による疾病啓発プロジェクトを行い、当時、佐賀大学医学部の肝疾患センター長だった私がプロジェクトの責任者となりました。

プロジェクト開始から約8年を要しましたが、県内での肝炎の治療者が段々と増え、同じ時期に治療の劇的な進歩もあり、佐賀県の肝がん死亡率はワースト1位を返上できました。医師を含む全職種の治療従事者や県内の肝炎・肝がん対策の関係者と、県民と自治体や医療機関の橋渡しとなる「肝炎医療コーディネーター」を主軸とした地域ぐるみの啓発と連携によって、検査や治療を受ける人が急増したのです。この手法は「佐賀方式」と呼ばれるようになり、日本のみならず世界でも注目されるようになりました。

モンゴルでも成果を上げた佐賀方式

佐賀大学の口腔外科の名誉教授で、佐賀ロータリークラブ会員である香月武先生は、これまで佐賀ロータリークラブの国際貢献のひとつとしてモンゴルでの口腔外科の医療技術指導に長年携わってこられ、モンゴルでは神の手をもつ外科医と称されています。香月先生から「モンゴルでも世界保健機関（WHO）や日本を含む国々が支援して肝がん対策を行っているにもかかわらず、死亡率世界ワースト1位が続いている」という話を聞いた私は、モンゴルで長年、肝がん対策を行ってきたムンクジャーガル医師（ウランバートル・ロータリークラブ会員）と幾度もインターネット会議を行いました。佐賀県で行っている肝がん対策システムについて説明した



- 楠山 友加江 君 私が入会した時の会長が魚谷さんでした、会長というイメージが私の中で大きかったのですが、先ほのニコニコでイメージがかなり変わりました。あと、今度の新春夫婦例会に娘と孫とで参加させていただきました。
- 角谷 太基 君 昨日、映画を見に行こうと思いきやとすると奥さんが私も行くと言い出して、見たい映画をいうとそれは嫌だと言って、一緒に行きましたが別々の映画を見ました。
- 田岡 郁敏 君 この前、子ども食堂のお菓子配布に参加しました。子供たちが非常に喜んでいたので良かったです。そのあと家族でご飯を食べに行ったとき、奥さんの車をぶつけてしまい、その見積もりが今日来ました。年末はおとなしく過ごします
- 上田 善計 君 昨日、母親の49日でした。仕事もあるいろいろなことが重なり疲れましたが、すごく美味しいお酒をいただけるのでありがたいです。また来年もたのしくお酒を飲みましょう。
- 奥 喜全 君 最近子供や奥さんには買ってないんですが、自分にクリスマスプレゼントを買いました。折り畳みの自転車です。
- 新垣 直樹 君 このように宴会ができるようになって良かったです。毎年この時期会費振込の手紙が来るのでそれだと思いを開けずにはほっておいたら、違う内容の手紙だと後日気が付きました。皆さんも手紙はちゃんと中身を確認しましょう。
- 倉橋 利徳 君 嫁さんと二人で寺下牧場に行ってきました。
- 田中 淳 君 ボーナスが出ました。寝るのが好きなので「エアウェーブ」を買って欲しいといいましたが、トイレが壊れているのでそっちが先だと言われ、後日なんか安っぽいマットが届いていました。
- 千賀 知起 君 私も昨日サッカー決勝を見ました。私の実はサッカー部でして不動のセンターフォワードと言われていました。すごくいい試合でした。
- 中村 俊之 君 先日、きうち子供食堂にお菓子配布の支援に行ってきました。そこでサンタの恰好をしたのですが、子ども達がキラキラした目でサンタさんやと喜んでくれました。子供たちの期待に応えるためサンタの恰好をするときは本気でやりましょう。

肝炎・肝がん 対策の基礎

肝炎医療コーディネーターを主軸に、多種職がパトタッチしてこれらを効率よく進める連携システムが「佐賀方式」

ウイルス性肝炎は知らないうちに感染し、放置すると命に関わるという知識を広く社会に広める「啓発」

簡単な血液検査で済む「受検」

肝炎ウイルス陽性が分かったら精密検査を受ける「受診」

治療が必要であれば最適な治療を「受療」

治療後も定期的なエコー検査等を受ける「フォローアップ」

ところ、「佐賀方式」独自の連携システムに大変関心を持っていただきました。

2017年にはモンゴルからムンクジャール医師や関係者の方々が、佐賀ロータリークラブ、医学部長、病院長を訪問。2018年にはモンゴル保健大臣から佐賀大学学長への協力要請があり、正式に佐賀ロータリークラブと佐賀大学肝疾患センターによるモンゴルの肝がん対策に向けた協力が始まりました。また、ウランバートル・ロータリークラブがロータリー財団グローバル補助金を活用してプロジェクトを提唱

し、第2740地区も資金面で支援しています。

2017年に初めてモンゴルを訪問し、「肝炎医療コーディネーター」の養成に対する関心が高いことがわかりました。モンゴルでは医師を含む医療従事者が少なく、また国民の半分以上が遊牧民として離れ離れで生活しているため、健康を含む情報発信が十分に行き渡っていないのです。

早速、2018年11月に日本語が堪能なウランバートル・ロータリークラブのロータリアン、ブルガンさんがモンゴル人として初めて日本の肝炎医療コーディネーター研修を佐賀県で修了されました。さらに12月には私たちが現地に赴き、ウランバートルの隣にあるトゥブ県の約200名の医療従事者向けにモンゴルで初の肝炎医療コーディネーターの養成、および佐賀方式の連携による肝炎・肝がん対策の支援を行いました。

その後、世界はコロナ禍となり、訪問が途絶えていましたが、その間も現地では着々と佐賀方式の推進が継続され、モンゴルで

新たに2県で肝炎医療コーディネーターの養成が行われました。これらのコーディネーターの活躍と地域の医療機関の連携構築により、多くの県民が肝炎ウイルス検査を受けてデータベースに登録し、治療からフォローアップまでを見届ける佐賀方式システムの成果が出ていました。



ロータリアンとなり、頭を丸坊主にして活動を継続

2020年、私は佐賀大学を辞し、実家の病院を継ぐことになりました。その際に、香月先生から「これからはロータリアンとして諸外国の肝炎・肝がん対策に頑張ってみないか」とお声をかけていただき、香月先生と同じ佐賀ロータリークラブに入会させていただきました。



ロータリアンとなって初めての訪問は、モンゴルで最も高い肝がん死亡率の県であるスフバートル県への医療支援が目的でした。同県でも2021年に肝炎医療コーディネーターの養成を皮切りに佐賀方式が導入され、約3,500名の新規の肝炎ウイルス検査を受け、数百名の感染者が新たに判明していました。

今回の活動支援地であるスフバートル県の四つの村は、それぞれの村が四国ほどの面積である一方、人口は1000人前後で、首都ウランバートルから約800キロメートル離れた中国国境に接しています。大草原を約15時間かけて走破しようやく到着できる、まさに辺境の地です。

食事は村々で唯一の医療センターで患者さんに提供される食事をご馳走になりながら、宿泊はモンゴル伝統のゲルと呼ばれる円形のフェルトでできたテントでの寝泊り。水道も風呂も電源もなく、トイレも医療センターで貸してもらえただけの環境でしたので、渡航前には頭髪を丸坊主にして行きました。

私は腹部エコー検査と技術指導が役割でしたが、1日80名以上に検査を行い、驚く数の進行した肝臓病を発見し、モンゴル人医師らにもその後の治療などについて指導ができました。県庁での成果報告会ではスフバートル県知事から感謝状をいただきました。2018年からのモンゴル訪問は計6回となり、徐々に佐賀方式による素晴らしい成果が出ています。肝炎対策はSDGsにも掲げられた世界共通の課題であり、モンゴルの肝炎対策に私たちの医療技術支援がお役に立てているのは、大変嬉しいことです。今後もモンゴル全土で、肝炎対策を抱える世界の国々でお役に立てることを期待しています。

私は腹部エコー検査と技術指導が役割でしたが、1日80名以上に検査を行い、驚く数の進行した肝臓病を発見し、モンゴル人医師らにもその後の治療などについて指導ができました。県庁での成果報告会ではスフバートル県知事から感謝状をいただきました。2018年からのモンゴル訪問は計6回となり、徐々に佐賀方式による素晴らしい成果が出ています。肝炎対策はSDGsにも掲げられた世界共通の課題であり、モンゴルの肝炎対策に私たちの医療技術支援がお役に立てているのは、大変嬉しいことです。今後もモンゴル全土で、肝炎対策を抱える世界の国々でお役に立てることを期待しています。

<https://on.rotary.org/3h2Dfx4>



四つのテスト

善行はこれに勝らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか